



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2021 8 月号
Vol.126
毎月1回発行(通巻126号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

第10回 「全国医療経営士実践研究大会」 WEB大会

トークセッション座談会座長・裴英洙氏からのメッセージ
「3つの感度」を磨いて
有事にも活躍できる人材に!

6月下旬から参加エントリーを開始した、第10回「全国医療経営士実践研究大会」WEB大会。今回はプログラムの目玉の一つであるトークセッション座談会で座長を務める裴英洙氏(ハイズ株式会社代表/慶應義塾大学特任教授)から医療経営士に向けたメッセージをいただいた。



裴 英洙氏
ハイズ株式会社代表
慶應義塾大学特任教授

過酷な状況から這い出す 起き上がり力の重要性

コロナ禍における病院経営は、ある意味、情報戦と言えるのではないだろうか。正しい情報をいち早く得てコロナ患者を受け入れ、過去最高収益を上げた病院があった一方で、経営判断が遅れ消極的意思決定しかできなかつた病院の中には、厳しい状況になったところもありました。今回のような状況下では先行者利益が大きく、判断の遅れた病院は後塵を拝することとなりました。今後適切かつ素早い意思決定ができるかどうか、病院経営にとって、ますます重要になってくるでしょう。

また、感染防止対策など、日ごろの病院の基礎力も問われました。院内クラスタの発生を避けなければ

医療経営士に期待する 病院のセッターの役割

ばいけけないのは当然ですが、新型コロナウイルスは未知の感染症ということもあり、十分注意していても防ぎ切れないケースがあったようです。そのようなときに重要なのが、大きな変化が起きたとき、それに対応して起き上がる力があるかどうかだと思えます。たとえば院内クラスタが発生してしまつたとしても、そこから学びを得て、素早く体制を整え前進していける「起き上がり力」を持つことが、経営の大切なポイントです。

今の病院経営の現場には、何を拠りどころにしたらよいのかといったモヤモヤ感が漂っている気がします。このような不確実性が高い状況において必要とな

センサーとモーターを フル稼働して乗り切ろう!

るのは、「3つの感度」なのではないでしょうか。それは、「①情報への感度・正確な情報の把握と有効な情報の発信」、「②リスクへの感度・リスクに対する適切なシミュレーション」、「③職員の声への感度・職員の不平不満や反対意見のキャッチ」です。これらの感度を併せ持った優秀なセッターがいる病院は、危機を乗り切り経営的にうまくいっているように感じます。このセッターの役割を担うのが、医療経営士ということになるでしょう。

有事に対応するためには「状況は常に変わり続ける」ということをマインドセットしておく必要があります。たいへんな状況下では、いかに収益を得るかよ

りも、いかに傷口を浅くするか、という考え方が基本になってきます。

厳しい中で病院経営を支える医療経営士の皆さんには、センサーとモーターの両方が大切だということを再認識してほしいと思います。センサーとは感覚神経、モーターとは運動神経、この両方を稼働させることが重要なことです。有事にあつては、特にセンサー(感覚神経)の重要性が増します。前述した「3つの感度」を磨くことで高性能のセンサーを携え、病院経営を支えてほしいと思います。

WEB大会のトークセッションには、多彩なゲストの方々が参加します。教科書には載っていない病院や経営のリアルな話ができればと思いますので、どうぞご期待ください!

第10回 全国医療経営士実践研究大会 WEB大会

開催期間

2021年

11月1日(月)
30日(火)

大会テーマ

医療経営士が挑む 「ポストコロナ時代の医療改革」

— 今こそ英知を結集し、マネジメントを進化させよう! —

参加エントリー/演題発表登録
大会ホームページで受付中!



大会運営委員長

真野俊樹

中央大学大学院戦略経営研究科教授/多摩大学大学院特任教授/
一般社団法人日本医療経営実践協会参与

後援

厚生労働省 ほか

参加費(税込)

会員 3,000円/一般 5,000円

TOPICS

北海道支部実践研究大会が盛況裡に閉幕

コロナ禍でも意欲満々！9人が多彩なテーマで演題発表に挑戦

北海道支部は7月10日(土)、WEBセミナー「2021年度医療経営士研究会 北海道支部実践研究大会」を開催した。テーマは「コロナ時代を生き抜く病院経営と連携の在り方」。基調講演をはじめ、3経営士(医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士)らによる演題発表が行われた。

3密回避を徹底し 自院のバリエーションを向上

はじめに、大会運営委員長を務める北海道支部支部長の田中繁道氏が開会挨拶。「ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた展望を持たなければならぬ。積極的に参加していただき、実りある会にしよう」と呼びかけた。

次に、公益財団法人東京都保健医療公社副理事長で医療経営士2級の上田哲郎氏が登壇し、「コロナ禍での病院運営から学ぶこれからの病院経営と地域連携」と題した基調講演を行った。東京都保健医療公社が管轄する墨東病院は、人口約150万人を抱える区東部二次医療圏に位置し、700を超える病床を持つ総合病院として三次救急や周産期医療を担っている。

上田氏は同院が新型コロナウイルスの院内感染から学んだこととして、「現在の医療は、チーム医療の推進により1人の患者に多職種が関わる体制。入院期間短縮が促進されるなか、従来よりも3密が生じやすい」と指摘。そのうえで感染対策に不可欠なこととして、▽職員数に合わせたスペースの確保▽多人数が接触する状況下の濃厚接触の回避▽患者

間の濃厚接触の回避——を挙げた。さらに、医師会や保健所を核にコロナ回復者の転院に係る連携体制を整備した「墨田区モデル」に触れ、地域連携の必要性を挙げる。また、「自院へのプライドを持つことが職員自身のモチベーション維持に役立つ」と述べた。

また、アフターコロナにおける病院経営については、▽コストも考慮した自院のバリエーション向上▽地域連携の機能強化▽働き方改革の推進——を強調。「病院経営には、バリエーション、クオリティ、アイデンティティ、コストを考慮することが最も重要である」と締めくくった。

医療経営士ら9人が 現場の実践活動を報告！

続いて演題発表が行われた。3経営士からは、医療経営士5人、介護福祉経営士1人、栄養経営士1人が挑戦した(下表)。

今多嘉幸氏は、BIツールを利用した看護師業務の改善事例、業務の見える化とRPA活用による業務削減の事例を紹介。

田中卓氏は、新型コロナウイルス感染症を契機とし、地域で介護事業者連絡協議会を発足した事例を発表し、「コロナを乗り越えつつ、地域で事業所連携の

結束が強まった」と述べた。

駒井紅美氏は、管理栄養士の病棟常駐の試みから、適切な経腸栄養管理に取り組んだ事例を報告した。

谷口和基氏は、自己完結型から地域連携型医療への転換により、地域における自院のポジションニングの明確化に加え、黒字経営を図った取り組みを発表した。

加藤彩芳氏は、医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの兼務者として在宅広報活動を強化した事例を報告し、「広報継続により地域や病院経営に貢献できた」と振り返った。

菊地義明氏は、薬剤部門におけるタスクシフティングで、職員、患者、経営の「三方良し」の効果を生んだ事例を報告した。

吉竹敦史氏は、新型コロナウイルスに対する意欲溢れる取り組みを発表。「若手事務長の皆さん、一緒に頑張っていこう」と呼びかけた。

この他、3経営士以外では2人が登壇。木下浩志氏(特定非営利活動法人ちとせの介護医療連携の会)

【表】3経営士による演題発表 発表タイトルと発表者一覧

演題タイトル	発表者	資格	所属・肩書
データ見える化による業務改善への取り組み	今多嘉幸氏	医療経営士3級	NECソリューションイノベータ株式会社医療ソリューション事業部
コロナ禍における地域での事業所連携	田中 卓氏	介護福祉経営士1級	株式会社ファミリーケアサポート代表取締役
経腸栄養患者の消化器症状に応じた栄養	駒井紅美氏	栄養経営士	医療法人社団つづき会空知中央病院栄養科主任
自己完結型から地域連携型医療への構造転換の取り組み	谷口和基氏	医療経営士2級	道東動機協賛路協立病院事務長
在宅との連携における広報の効果	加藤彩芳氏	医療経営士3級	医療法人 湊仁会札幌西門山病院地域連携推進室/在宅ケアセンター
中小病院薬剤師でもできる病棟・外来業務とタスクシフティング	菊地義明氏	医療経営士3級	北海道消化器科病院薬剤部
平成ゆとり事務長VS コロナウイルス	吉竹敦史氏	医療経営士3級	社会医療法人考仁会 新しくするクリニック事務長

は、地域の医療・介護事業者同士の関係構築により、新型コロナウイルスに迅速に対応した事例を紹介し、川畑盟子氏(北海道栄養士会栄養ケア・ステーション)は、「自分らしい生活には、栄養ケアからのサポートが重要」とし、地域のかかりつけ管理栄養士としての活動を解説した。

発表終了後、田中支部長は、「各分野でたくましく活動されている経営士の皆さんの発表を聞き、勇気をもらった。毎年継続したい」と講評した。

日本ヘルスケア経営学院 医療経営士 実践研究講座 WEB講座

8/27(金)
ZOOM
ライブ配信!

実践研究!

— 見えない災害リスクでの医療継続を支援する —

「在庫・発注～納品・供給管理II」



● 講師
内田 力氏
(医療経営士3級、社会福祉法人恩賜財団
済生会支部神奈川済生会
横浜市東部病院事務部副部長)

● 開催日時
8月27日(金) 19:00~21:00
● 参加費(税込)
会員:10,000円/一般:15,000円

商品統一や共同購入、災害時に備えた在庫確保など
医療材料マネジメントの要諦を学ぶ!

事務局掲示板

「医療経営士合格者の集い」 8月26日(木)開催決定!

日本医療経営実践協会関東支部では、第33回「医療経営士3級」資格認定試験の合格者を対象に「医療経営士合格者の集い」をオンラインで開催します。講師は自主研究会の事務局代表を務める医療経営士3人を予定。実践事例や活動内容の報告を通して、「これから医療経営士がすべきこと」を学びます。開催日時は8月26日(木)17時～18時15分。第33回試験合格者は参加費無料(会員1,000円、一般3,000円)。関東地域以外からの参加も大歓迎です。詳細は協会HPまで。医療経営士としての第一歩を踏み出しましょう。

第10回全国大会のポスターが完成 掲示していただける会員の方を募集中!

第10回「全国医療経営士実践研究大会」WEB大会のポスターを掲示していただける会員の方を募集中です。ご希望の方は「全国大会ポスター希望」と件名をつけ、お名前、送付先住所、電話番号、必要枚数をご明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。A4判フライヤーもご用意しています。あわせてご応募ください。



【お申し込み】

E-mail: info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

8/19 関東支部

第6回ちば研究会

診療報酬改定から見る医療制度改革の方向性 ～コロナ禍を乗り越え医療職の未来を考える～

ちば研究会では、「診療報酬改定から見る医療制度改革の方向性」をテーマに第6回研究会を開催する。講師は数多くの講演実績を持つ、一般社団法人日本血液製剤機構事業本部事業戦略部の谷澤正明氏。

2年に1度の診療報酬改定では、改定状況を把握することで、医療界の動きや取り組むべき課題が少しずつ見えてくる。研究会では講演やディスカッションを通して、コロナ禍の先にある医療の未来を見据える力を身につける。

- 日時: 8月19日(木) 18:00～19:30
- 開催方式: ZOOMライブ配信
- 参加費(税込): 会員:1,000円/一般:3,000円
- お問い合わせ先: 日本医療経営実践協会関東支部
TEL:03-3553-2885(担当:干場)

8/22 九州支部

三経営士合同研究会

ひまわり先生の交流分析学を用いた 医療者のためのコミュニケーション実践講座 第1回(全3回)

九州支部では、交流分析学を用いたコミュニケーションの実践手法を学ぶ研究会をZOOMライブ配信で開催する。講師は「ひまわり先生」の愛称で人気の心理カウンセラー米倉けいこ氏(株式会社メンタルサポート研究所)。

交流分析学とは、人間の心と行動に関する理論体系で、1950年代後半に米国の精神科医エリック・バーンが提唱した。全3回の研究会では講義とグループワークを実施し、患者対応や上司・医師との関係を見直す方法を学ぶ。

- 日時: 8月22日(日)、9月19日(日)、10月17日(日)
各回13:00～16:00
- 開催方式: ZOOMライブ配信
- 参加費(税込): 会員:4,000円(各回)、10,000円(全3回)/一般:5,000円(各回)、13,000円(全3回)
- お問い合わせ先: 日本医療経営実践協会九州支部
TEL:092-418-2828(担当:中野)

10月17日(日)実施「医療経営士」資格認定試験の 直前ポイント整理講座(WEB講座)が8月上旬より配信 受講者限定「特別予想問題」をプレゼント!

講師の網代祐介氏(左)と藤井昌弘氏



日本医療企画では、当協会が10月17日(日)に実施する第22回「医療経営士2級」および第34回「医療経営士3級」資格認定試験の直前ポイント整理講座(WEB講座)を開催する。講師は、2級が社会医療法人社団光仁会第一病院医療福祉連携室室長・法人管理企画部兼務の網代祐介氏(医療経営士1級、医療経営指導士)、3級が株式会社FMCA代表取締役の藤井昌弘氏。受講者には「特別予

想問題(2級100問、3級70問)」が配布される(申し込み後、順次発送)。

本講座はオンデマンド配信であるため、何度でも視聴が可能。出題範囲の重要ポイントを効率的に学習し、知識の定着を図る。なお、2級は『医療経営士中級テキストシリーズ』(日本医療企画刊)の改訂に合わせた完全撮り下ろしとなっている。難関試験突破に向けた直前対策として、ご活用いただきたい。

【講座概要】

- 受講料(税込)
2級講座:15,000円(視聴のみ)/17,000円(書籍付き)
※書籍『なるほど、なっとく医療経営Q&A60 中級』(定価4,180円)
- 3級講座:15,000円
- 配信期間
8月上旬から10月17日(日)
- お問い合わせ先
株式会社日本医療企画
受験対策講座事務局(担当:原田) TEL:03-3553-2885
URL: http://www.jmp.co.jp/seminarinfo/

日本ヘルスケア経営学院 医療経営士 実践研究講座 WEB講座

8/25(水)
ZOOM
ライブ配信!

実践研究!

～withコロナ時代の変化と戦略を考える～

「変わりゆく地域医療連携」

講座概要



- 講師
網代祐介氏
(医療経営指導士、医療経営士1級、
社会医療法人社団光仁会第一病院
医療福祉連携室室長、法人管理企画部兼務)

- 開催日時
8月25日(水) 19:00～21:00
- 参加費(税込)
会員:10,000円/一般:15,000円

これまでとは何が変わるのか?
具体的に考えていきましょう!

第21回「医療経営士2級」、第33回「医療経営士3級」資格認定試験 結果詳報

新たに2級112人、3級473人の合格者が誕生!

一般社団法人日本医療経営実践協会は、7月13日[火]、第21回「医療経営士2級」および第33回「医療経営士3級」資格認定試験（ともに6月13日[日]実施）の合格者を発表した。2級試験(13会場)は459人が受験し、112人が合格、3級試験(31会場)は1,306人が受験し、473人が合格した。両試験について、結果の詳細を報告する。

【表1】 第21回2級試験および過去試験累計 結果概要

	第21回試験	第1～21回試験累計
受験者数	459人	7,837人
合格者数	112人	2,129人
合格率	24.4%	27.2%

【表2】 第21回2級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	40人(8.7%)	10人(8.9%)	25.0%
30歳以上39歳以下	147人(32.0%)	32人(28.6%)	21.8%
40歳以上49歳以下	157人(34.2%)	44人(39.3%)	28.0%
50歳以上59歳以下	97人(21.1%)	22人(19.6%)	22.7%
60歳以上	18人(3.9%)	4人(3.6%)	22.2%

【表3】 第21回2級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	123人(26.8%)	38人(33.9%)	30.9%
医療関連企業	71人(15.5%)	12人(10.7%)	16.9%
医薬品製造・卸売	164人(35.7%)	42人(37.5%)	25.6%
医療機器製造・販売	21人(4.6%)	0人(0.0%)	0.0%
金融機関	39人(8.5%)	9人(8.0%)	23.1%
大学・短大生	3人(0.7%)	0人(0.0%)	0.0%
その他	38人(8.3%)	11人(9.8%)	28.9%

【表4】 第33回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第33回試験	第1～33回試験累計
受験者数	1,306人	48,744人
合格者数	473人	21,144人
合格率	36.2%	43.4%

【表5】 第33回3級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	294人(22.5%)	117人(24.7%)	39.8%
30歳以上39歳以下	441人(33.8%)	157人(33.2%)	35.6%
40歳以上49歳以下	379人(29.0%)	138人(29.2%)	36.4%
50歳以上59歳以下	180人(13.8%)	57人(12.1%)	31.7%
60歳以上	12人(0.9%)	4人(0.8%)	33.3%

【表6】 第33回3級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	221人(16.9%)	75人(15.9%)	33.9%
医療関連企業	305人(23.4%)	112人(23.7%)	36.7%
医薬品製造・卸売	334人(25.6%)	136人(28.8%)	40.7%
医療機器製造・販売	173人(13.2%)	41人(8.7%)	23.7%
金融機関	172人(13.2%)	67人(14.2%)	39.0%
大学・短大生	7人(0.5%)	2人(0.4%)	28.6%
その他	94人(7.2%)	40人(8.5%)	42.6%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
 ※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回(第6回)から、「医薬品製造・卸売」は第16回(第23回)から、「医療機器製造・販売」は第21回(第30回)から追加された(カッコ内は3級試験の試験回)。
 ※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

●結果概要【表1】
 受験申込者数515人のうち459人が受験(受験率89・1%)し、112人が合格(合格率24・4%)した。合格率は前回試験より2・8ポイント下がった。この結果、第1回からの累計受験者数は7837人、累計合格者数は2129人となった。

●年代別構成【表2】
 受験者数、合格者数ともに「40歳以上49歳以下」が最多で、「30歳以上39歳以下」が続いた。合格率は28・0%の「40歳以上49歳以下」が最も高く、25・0%が最も高く、25・0%以下が続いた。合格率は過去3番目に低かった前回試験より

●結果概要【表4】
 受験申込者数1520人(振替申込者1人を含む)のうち1306人が受験(受験率85・9%)し、473人が合格(36・2%)した。合格率は過去3番目に低かった前回試験より

●年代別構成【表5】
 受験者数、合格者数ともに「30歳以上39歳以下」が最多で、「40歳以上49歳以下」が続いた。一方、合格率は39・8%の「29歳以下」が最も高く、36・4%の「40歳以上49歳以下」が続いた。

●勤務先別構成【表6】
 受験者数、合格者数ともに「医薬品製造・卸売」が最多で、「医療関連企業」が続いた。ここ数年は「医薬品製造・卸売」からの受験者が多かったが、やや落ち着いてきた感がある。一方、合格率は42・6%の「その他」が最も高く、40・7%の「医薬品製造・卸売」が続いた。

コロナ禍においても挑戦の歩みを止めず、見事合格を果たした方々の今後の活躍に期待したい。

●結果概要【表3】
 受験者数、合格者数ともに「医薬品製造・卸売」が最多で、「病医院」が続いた。合格者数は「医薬品製造・卸売」「病医院」で全体の

●結果概要【表4】
 受験申込者数1520人(振替申込者1人を含む)のうち1306人が受験(受験率85・9%)し、473人が合格(36・2%)した。合格率は過去3番目に低かった前回試験より

●年代別構成【表5】
 受験者数、合格者数ともに「30歳以上39歳以下」が最多で、「40歳以上49歳以下」が続いた。一方、合格率は39・8%の「29歳以下」が最も高く、36・4%の「40歳以上49歳以下」が続いた。

●勤務先別構成【表6】
 受験者数、合格者数ともに「医薬品製造・卸売」が最多で、「医療関連企業」が続いた。ここ数年は「医薬品製造・卸売」からの受験者が多かったが、やや落ち着いてきた感がある。一方、合格率は42・6%の「その他」が最も高く、40・7%の「医薬品製造・卸売」が続いた。

コロナ禍においても挑戦の歩みを止めず、見事合格を果たした方々の今後の活躍に期待したい。

第21回「医療経営士2級」資格認定試験

2級試験の合格率は「病医院」がトップ! 唯一30%を上回る

7割以上を占め、「医療機器製造・販売」「大学・短大生」は合格者なしであった。一方、合格率は30・9%の「病医院」が最も高く、全体平均を6・5ポイント上回った。

なお、今回の試験より男女別構成は非公開となっている(3級試験も同様)。

受験者数、合格者数ともに「医薬品製造・卸売」が最多で、「医療関連企業」が続いた。ここ数年は「医薬品製造・卸売」からの受験者が多かったが、やや落ち着いてきた感がある。一方、合格率は42・6%の「その他」が最も高く、40・7%の「医薬品製造・卸売」が続いた。

コロナ禍においても挑戦の歩みを止めず、見事合格を果たした方々の今後の活躍に期待したい。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日	10月17日
2021年	
受験エントリー期間	8月2日[月]～8月30日[月]
受験料支払締切日	8月31日[火]

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

	第34回「医療経営士3級」	第22回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者(分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格かつ、本協会正会員
試験会場 (予定)	札幌・盛岡・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめて申し込みできます。
 ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。

受験エントリー
8月30日まで!!
 同僚やお知り合いの方に
 ご紹介ください